

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	四條畷学園短期大学
設置者名	学校法人四條畷学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	保育学科				12	12	7	
	ライフデザイン総合学科				11	11	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://portal.shijonawate-gakuen.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp">https://portal.shijonawate-gakuen.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</a> キーワード「実務家」検索
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	四條畷学園短期大学
設置者名	学校法人四條畷学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学園ホームページにて公開  
<http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/organization/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019.6.1～ 2021.5.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社役員	2019.6.1～ 2021.5.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	四條畷学園短期大学
設置者名	学校法人四條畷学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業担当者全員に「シラバスの作成ガイドライン」を配布し、授業の方法、内容・到達目標、成績評価の方法や基準その他授業時間外学習、定期試験、試験・課題に対するフィードバック方法などを記載したシラバスを作成。</p> <p>ホームページ上に掲載し、四條畷学園大学・短期大学「教務情報システム」において、学生および関係者のほかに一般にも広く公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://portal.shijonawate-gakuen.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp">https://portal.shijonawate-gakuen.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>1. 「教育研究上の目的」達成の指標として、各学科が掲げる「教育研究上の目的」(①～⑥または①～⑤)に属する科目群ごとに、各授業科目の評点を単位数により加重平均して得られた点数(以後「目的別評点平均」と記す)を算出する。</p> <p>2. 「学修成果評価表」には目的別評定平均のほか、そのレーダーチャート、その算出表、目的別履修単位数、およびその棒グラフを掲載し、学生が「教育研究上の目的」別到達度を一見して理解できるようにし、以後の意欲的学修に資するものとする。</p> <p>3. 1年前期の成績確定後から2年後期の成績確定まで4回作成する。1年後期以後はこれまでの学期に履修したすべての科目を累積して算出する。</p> <p>4. この「学修成果評価表」は従来の成績表とともに学生の履修指導の資料として活用する。</p> <p>5. 各授業科目のシラバスにも「教育研究上の目的」を付記し、学生や教科担当者が常に授業を通して「教育研究上の目的」を意識するようにする。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>本学は、GPA制度の導入と、ディプロマポリシーや学科の教育目標に基づいて新たに設定した「各学科の教育目標に基づき学生が各教科で達成すべき目標(教育研究上の目的)」(以後「教育研究上の目的」と表記)の明文化を行っている。</p> <p>GPAは学生の学修成果を測る指標として、各学期に習得した卒業にかかわる教科の学修成果、到達度を客観的・相対的に見ることができる。</p> <p>また、「教育研究上の目的」は、本学のディプロマポリシーを達成するために、各学科の教育目標に基づいて作成したもので、各授業科目に配当することにより、学生は授業を通して目的達成を目指すことができる。</p> <p>以上2点を踏まえ、「教育研究上の目的」に対する学生の到達度を評価する資料として「学修成果評価表」を作成する。</p> <p>これは、学生の学修成果について「教育研究上の目的」の観点から照射し、「目的」別に質的・量的な数値化により可視化したものである。学生に「教育研究上の目的」別の学修状況を認識させることを通して、「教育研究上の目的」到達に向けた意識の向上を図り、各学科の教育目標、ひいては本学のディプロマポリシーの真の達成を促すことを目的とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/gpa/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/gpa/</a>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

建学の精神「報恩感謝」ならびに教育理念「人をつくる」に基づいた人間力を身につけ、一般教養教育、専門教育、キャリア教育の各領域において求められる基本的知識、技術や技能を修得し、所定の単位を取得して卒業要件を満たした者に短期大学士の学位を与える。卒業時には、学修したことを基本的に活用することで、以下の能力が備わっていることを目指す。

1. 善良な市民として高い倫理観を持ち、礼儀・礼節を備えている。
2. 豊かなコミュニケーション力がある。
3. 実行しながら考え、何事にも積極的姿勢を示している。
4. 自ら考え、課題解決するための基本的能力を備えている。
5. 自己を確立して、生涯学び続ける意欲を持っている

卒業するには、保育学科、ライフデザイン総合学科に2年以上在学し、教育課程表に基づき、合計62単位以上を修得し、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/mokuhyou/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	四條畷学園短期大学
設置者名	学校法人四條畷学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページの財務情報のページに掲載 <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページの財務情報のページに掲載 <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/</a>
財産目録	ホームページの財務情報のページに掲載 <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/</a>
事業報告書	ホームページの財務情報のページに掲載 <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/</a>
監事による監査報告(書)	ホームページの財務情報のページに掲載 <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/finance/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書)	対象年度:平成30年度)
公表方法: <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/report/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/report/</a>	
中長期計画(名称:SG 90-100 Plan)	対象年度:令和元年度~令和3年度)
公表方法: <a href="http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/report/">http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/information/report/</a>	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2015/05/h26_kikanbetu.pdf">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2015/05/h26_kikanbetu.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科
教育研究上の目的 (公表方法: <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/</a> ) (概要) 1. 保育や幼児教育、福祉に関する知識を理解している 2. 保育における的確な実践力、判断力、コミュニケーション力を身につけている 3. 子どもの表現、遊びに関する技能や表現を身につけ、援助の方法を習得している 4. 社会状況に関心を持ち、それに応じた保育の向上に努めようとしている 5. 保育の実践者としての自覚を持ち、人間的成長や向上に努めている 6. 保育の近接領域を学び、保育周辺の資格を取得する
卒業の認定に関する方針 (公表方法: <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/mokuhyou/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/mokuhyou/</a> ) (概要) 建学の精神「報恩感謝」ならびに教育理念「人をつくる」に基づいた人間力を身につけ、一般教養教育、専門教育、キャリア教育の各領域において求められる基本的知識、技術や技能を修得し、所定の単位を取得して卒業要件を満たした者に短期大学士の学位を与える。卒業時には、学修したことを基本的に活用することで、以下の能力が備わっていることを目指す。 1. 善良な市民として高い倫理観を持ち、礼儀・礼節を備えている。 2. 豊かなコミュニケーション力がある。 3. 実行しながら考え、何事にも積極的姿勢を示している。 4. 自ら考え、課題解決するための基本的能力を備えている。 5. 自己を確立して、生涯学び続ける意欲を持っている
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/</a> ) (概要) ・社会人として幅広い視野と保育に関する基本的な知識・技能を獲得するために、基礎科目を設置する。 ・保育者としての実践力を獲得するため、保育の専門的な方法論と知識を体系的に学ぶ教科科目および教職科目を設置する。 ・子どもの情操教育に関する技能と感性を身につけるため、音楽・造形・身体表現の学習および研究を実践的に積み上げ、統合していく参加型の授業を実施する。 ・身につけた専門的知識・技能を活用し、自ら保育の課題を見出し解決していく能力や姿勢を育てるため、卒業ゼミを特別研究科目として学科必修とする。 ・現代社会の様々なニーズに対応するため、保育の近接領域に関する資格取得を支援する科目を設置する。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/</a> )

<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 将来、幼稚園教諭や保育者になりたいという目的と意思が明確で、その実現に向け努力を惜しまない人。</li> <li>2. 幼児教育や保育の現場で必要な専門的知識や技能の習得とその実践に意欲的に取り組む人。</li> <li>3. 将来を担う子どもの教育や保育に携わるにふさわしい礼儀、礼節を重んじ、品性の向上を目指す人。</li> </ol>
--

<p>学部等名 ライフデザイン総合学科</p> <p>教育研究上の目的 (公表方法：<a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/</a> )</p>
---

<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幅広い人間性と教養を身につけている</li> <li>2. 将来の人生設計(ライフデザイン)ができる</li> <li>3. 仕事に関するイメージを描き、自分に適した仕事を見つける</li> <li>4. それぞれのエリアの基礎的知識やスキルを身につけている</li> <li>5. それぞれのエリアの専門性を深めている</li> </ol>
---

<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：<a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/mokuhyou/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/mokuhyou/</a>)</p>
---

<p>(概要)</p> <p>建学の精神「報恩感謝」ならびに教育理念「人をつくる」に基づいた人間力を身につけ、一般教養教育、専門教育、キャリア教育の各領域において求められる基本的知識、技術や技能を修得し、所定の単位を取得して卒業要件を満たした者に短期大学士の学位を与える。卒業時には、学修したことを基本的に活用することで、以下の能力が備わっていることを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 善良な市民として高い倫理観を持ち、礼儀・礼節を備えている。</li> <li>2. 豊かなコミュニケーション力がある。</li> <li>3. 実行しながら考え、何事にも積極的姿勢を示している。</li> <li>4. 自ら考え、課題解決するための基本的能力を備えている。</li> <li>5. 自己を確立して、生涯学び続ける意欲を持っている</li> </ol>
--

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：<a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/</a>)</p>
---

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベーシックフィールド、アドバンスフィールド、フォーカスフィールド、特別研究フィールドの4つのフィールドを設置する。</li> <li>・ベーシックフィールドに教養、基礎的な知識、スキルを身に着け、キャリア教育の導入となる科目を設置する。</li> <li>・アドバンスフィールドとフォーカスフィールドに、キャリア教育の深化を図る専門科目と、より高い専門性を身に着けるための専門科目を設置する。</li> <li>・特別研究フィールドに、身に着けた専門的な知識、スキルを活用し自ら課題を見出し解決していく総合力を養うための卒業ゼミを設置する。</li> <li>・すべてのフィールドでの学習により、生涯を通じた向上心と探究心を涵養し、自己のライフデザインを描き続ける能力を育成する。</li> </ul>
---

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：<a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/purpose/</a>)</p>
---



(概要)

本学科の教育目標を目指す教育を行うため、次のような人を求めています。

1. この学科において、常に探究心を持って勉学に取り組む人。
2. 自らの夢を持ち、その夢を実現するために精一杯努力する人。
3. 協調性があり、誰とでもコミュニケーションが取れ、集団の中で自己の向上を目指す人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保育学科	—	4人	4人	2人	人	人	10人
ライフデザイン総合学科	—	2人	人	4人	人	人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		67人					68人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/subjects/subject_hoiku/h-teacher/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/subjects/subject_hoiku/h-teacher/</a> 、 <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/subjects/subject_lifedesign/l-teacher/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/subjects/subject_lifedesign/l-teacher/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	100人	82人	82%	200人	186人	93%	0人	0人
ライフデザイン総合学科	80人	62人	77.5%	160人	129人	80.6%	0人	0人
合計	180人	144人	80%	360人	315人	87.5%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	86人 (100%)	3人 ( 3.5%)	81人 ( 94.2%)	2人 ( 2.3%)
ライフデザイン総合学科	75人 (100%)	4人 ( 5.3%)	65人 ( 86.7%)	6人 ( 8%)
合計	161人 (100%)	7人 ( 4.3%)	146人 ( 90.7%)	8人 ( 5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )
	人 (100%)	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )
合計	人 (100%)	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )	人 ( % )
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>短期大学設置基準によって、単位制を取っている。授業時間数と修得できる単位数との関係は、講義・演習・実習および実技のいずれかの学修方法を取るかによって異なる。</p> <p>これらの授業科目には、前期または後期のみを開講されるものと1年間と通じて開講されるもの(通年授業)がある。また、別に集中講座も開設される。</p> <p>その他授業科目の詳細・内容・年間行事等については、学生に配布の「履修の手引き」に掲載している。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>本学は、GPA 制度の導入と、ディプロマポリシーや学科の教育目標に基づいて新たに設定した「各学科の教育目標に基づき学生が各教科で達成すべき目標（教育研究上の目的）」（以後「教育研究上の目的」と表記）の明文化を行っている。</p> <p>GPA は学生の学修成果を測る指標として、各学期に習得した卒業にかかわる教科の学修成果、到達度を客観的・相対的に見ることができる。</p> <p>また、「教育研究上の目的」は、本学のディプロマポリシーを達成するために、各学科の教育目標に基づいて作成したもので、各授業科目に配当することにより、学生は授業を通して目的達成を目指すことができる。</p> <p>以上2点を踏まえ、「教育研究上の目的」に対する学生の到達度を評価する資料として「学修成果評価表」を作成する。</p> <p>これは、学生の学修成果について「教育研究上の目的」の観点から照射し、「目的」別に質的・量的な数値化により可視化したものである。学生に「教育研究上の目的」別の学修状況を認識させることを通して、「教育研究上の目的」到達に向けた意識の向上を図り、各学科の教育目標、ひいては本学のディプロマポリシーの真の達成を促すことを目的とする。（概要）</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	62 単位	有・無	単位
	ライフデザイン総	62 単位	有・無	単位

	合学科			
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/campuslife/campustour/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	1,090,000 円	280,000 円	47,100 円	
	ライフデザイン総合学科	1,090,000 円	280,000 円	0 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 保育学科ではクラス制、ライフデザイン総合学科ではオフィス制を実施それぞれに指導教員を配属する体制を取っている。修学に関する個別指導はもちろん様々な支援を行えるようにしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアセンターでは、専任相談員が常駐し、随時対応ができる体制。 学生一人ひとりの就職や四年制大学等への進学などに関するキャリア形成について、個々の学生ごとに、きめこまやかな相談とアドバイスを行っている。 二年次生に対しては、各学科別に就職講座を開催し、企業・専門職（幼稚園・保育園・認定こども園・施設等）にアプローチする際の注意事項や就職フェアへの参加、現地でフォロー、面接指導などのポイントを説明、実際の就職活動に即した指導に重点を置いている。 また、公務員を志望する学生向けの「公務員試験対策講座」を開講し、受験希望者へのサポートを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 四條畷学園 ICP 相談室を設置。カウンセラー(臨床心理士)が土曜日を除き毎日相談を行ける体制を整えている。 事前に申し込みが必要となるが、四條畷学園総合ホール 2 階および北条学舎 1 階にそれぞれ設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <a href="http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/info/">http://jc.shijonawate-gakuen.ac.jp/about/info/</a>
--